

(強い農業・担い手づくり総合支援交付金)

別紙様式5号(第7の3及び第8の3関係)

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(都道府県名: 鹿児島県, 令和4年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
					計画時(H30年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率				計画時(H30年)	1年後(R2年)	2年後(R3年)	3年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
指宿市	株式会社カヤタ農園	野菜(キャベツ、レタス)	130	全出荷量に占める契約取引の割合を5ポイント以上増加	49.2%	—	69.3%	90.8%	86.1%	112.7%	全出荷量に占める契約取引割合が41.6ポイント増加した	野菜(キャベツ、レタス)	131	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を5ポイント以上増加	61.3%	—	63.1%	79.0%	77.1%	107.3%	全出荷量に占める加工向け	集出荷施設(建屋428.4㎡、予冷施設1基)	60,885,000	26,495,000	0	0	34,390,000	83.3.31	予冷庫を活用することで品質保持ができ、出荷ピーク時においても安定的に出荷可能となったため、目標を達成することができた。	当該施設の整備により品質保持ができ、出荷ピーク時においても安定的に出荷可能となったことから、全出荷量に占める契約割合41.6ポイント増加、加工向け又は外食・中食向けの割合27.7ポイント増加につながり、事業効果を発揮することができた。	
東串良町	(株)古ヶ崎農園	野菜(きゅうり)	127	10aあたり収量を3%以上増加	20,796kg/10a	12,567kg/10a	19,447kg/10a	13,932kg/10a	27,907kg/10a	-6.5%	計画時より当該品目の10aあたり収量が533%減少した	野菜(きゅうり)	130	全出荷量に占める契約取引の割合を5ポイント以上増加	0%	89%	33%	67%	33%	203.0%	計画時より当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が67ポイント増加した	フェンローハウス7棟、5.152㎡、循環扇28台、暖房機4基、炭酸ガス発生装置4台、細露冷房装置	197,907,000	89,958,000	0	0	107,949,000	83.3.31	周年栽培が実施できるようになり、契約先への出荷量が安定した。収量に契約出荷率の向上に寄与している。一方、周年栽培により土壌改良期間が十分に確保できず、連作障害が発生し、収量が大幅に落ち込んでいる。	当該事業の導入により、契約取引の増加につながった。収量に契約出荷率の向上に寄与している。一方、周年栽培により土壌改良期間が十分に確保できず、連作障害が発生し、収量が大幅に落ち込んでいる。	

都道府県平均達成率	75.0%	総合所見	2事業主体のうち1事業主体が設定した目標を達成することができた。目標未達成の事業主体については、当該事業の導入により、契約取引の増加につながっているが、一部、連作障害等の発生により減収となったため、土壌改良等の対策等について助言等を行い、目標達成に向けた取組を進める。
-----------	-------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)の1に準じて作成すること。
 2 要綱第3の2の(2)の(ア)の(ア)のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

(国産農畜産物供給力強靱化対策)

別紙様式2号(第7の3及び第8の3関係)

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

(都道府県名:鹿児島県,令和4年度)

市町村名	事業実施主体名	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 【共通目標】					成果目標の具体的な内容② (対象作物・畜種等名)	メニュー (対象作物・畜種等名)	類別	事業実施後の状況② 【個別目標】					成果目標の具体的な内容② (工種・施設区分・構造・規格)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(H30年)	1年後(R3年)	2年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率				計画時(H30年)	1年後(R3年)	2年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他				
			計画時(H30年)	1年後(R3年)	2年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率				計画時(H30年)	1年後(R3年)	2年後(R4年)	目標値(R4年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他				
前九州市	株式会社たろう園	農畜産物の供給量の増加 H28～H30年平均)6,309.598kgを13.3%増加 H28 6,908.242kg H29 5,267.286kg H30 6,450.265kg	7,193,276kg	7,584,335kg	7,150,000kg	151.6%	計画時よりも20.2%の増加	野菜(キャベツ)	130	全出荷量に占める契約取引の割合を26.8ポイント増加	68.2%	94.7%	95.2%	95.0%	100.7%	計画時より27.0ポイントの増加 (契約改修)445.00㎡ (改修)445.00㎡ (増築)102.49㎡ 中古倉庫に同施設付た取組を実施中	155,100,000	70,500,000	35,250,000	0	49,350,000	R3.6.21	本事業の実施により品質が安定し産額ロスがほぼなくなった。また、一時予定で出荷調整が計画的に行えるようになったこと等から達成率は出荷量151.6%、契約取引量100.7%であった。 引き続き、冷蔵施設の活用により安定的な生産・出荷を行い、前年度資金の早期償還に努める。	当該施設を整備により品質が安定し産額ロスがほぼなくなった。また、一時予定で出荷調整が計画的に行えるようになったこと等から、農産物の供給量(出荷量)が20.2%増加、全出荷量に占める契約取引の割合27.0ポイント増加につながり事業効果を発揮することができた。	
東串良町	株式会社farm	新型コロナウイルス感染症発生前に比べて農畜産物の供給量を増加させること。	107 t	161 t	193 t	180 t	117.8%	新型コロナウイルス(ピーマン)	130	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合を5.5ポイント以上増加	0.0%	0.0%	29.9%	33%	90.6%	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が計画時から29.9ポイント増加	7,667,000	3,485,000	1,742,000	0	2,446,000	R3.3.12	冷蔵施設を整備によって天候や気温に左右されない計画的出荷が可能になり、生産面積の拡大及び新たな出荷先の確保、品質低下の防止につながった。 しかし、社会情勢が大きく変化し続けているため、それらに対応しながら生産と販売拡大を行う必要がある。	当該事業の導入により、計画出荷が可能になり、供給量の増加につながった。契約取引については、目標としていた数量の契約に至らなかったが、引き続き、既存の契約先との契約数量の拡大及び、新たな契約の確保(契約先の定める品種の栽培)等の取組を進める。	
前九州市	有限会社折尾正光園	荒茶生産量の増加 12.4%増加	259,038 kg	241,448kg	469,334kg	292,260kg	633.0%	荒茶生産物・地域産物(茶)	80	契約取引の割合を1.2%増加した。	0.0%	0.0%	40.0%	35.2%	113.6%	契約取引数量が40.0%増加した。 「かこしま茶」輸出がプラスに貢献した。 茶園を登録し3-1式向けたし取組を推進	938,200,000	355,909,000	177,954,000		304,337,000	R3.12.25	二番茶以降の価格低迷や燃料費等が高騰する中で大規模な製造出荷が必要な情勢の中、夏茶を中心に地域茶生産農家の原料を集積し、製造することで荒茶生産量を約2倍の実績を達成することができた。また、燃料費等の高騰から夏茶生産が減少するなかで効率的な生産が達成でき約187tの契約が達成でき目標達成となった。	当該施設を整備により、二番茶以降の価格低迷や燃料費等が高騰する中で、大規模な製造出荷が必要な情勢の中、夏茶を中心に地域茶生産農家の原料を集積し、製造することで荒茶生産量81.2%増加、契約取引量40%増加につながり、事業効果を発揮することができた。	

都道府県平均達成率	98.4%	総合所見	(県全体)3事業実施主体とも目標を達成することができた。 (野菜)当該施設整備により、計画出荷が可能となったことと併せ、契約取引の拡大にもつながり、目標を達成することができた。 (茶)荒茶生産量、契約取引量共に目標を達成することができた。
-----------	-------	------	---

(注) 1 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
2 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
3 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
4 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。